

2016年度 評価分布

	一般職	管理職
SS	0.8%	3.1%
S	36.1%	38.1%
A	61.2%	57.9%

昨年度に引き続き上位評価者（SSやS）が減り、標準評価者が増えています。この偏りは、一般職で顕著です。全教職員から0.03月分と扶養手当分をピンハネし、上位評価者（SS、S）のボーナスに上乗せしています。つまり、標準評価者（A）であっても、ボーナスは削減されているのです。他にも下位評価者（B、C）の削減分も上位評価

者への加算の財源としています。教諭の例では、評価のSとAでは、年間25才で約6万円、35才で約9万円、45才で約11万円、55才で約12万円の差が生じています。再任用教職員はボーナスの月数も半分で、扶養手当分も支給されていらないにもかかわらず、0.014月分が削減され、賃金リンクの財源に回されます。

今年6月、大阪府庁は2016年度の一時金（ボーナス・勤務手当）の成績率にかかわる「評価・育成システム」の賃金リンク等について説明しました。

賃金リンクで格差拡大 評価・育成システムは廃止させよう

成システムについて「職員アンケート」実施に向け研究するとに考え方を示したことは、わずかですがこれまでの運動の成果といえます。大教組・泉北教組はシステムの廃止に向け、引き続き取り組んでいきます。



**改憲許すな！
戦争法を廃止へ！**

9.19 おおさか総がかり集会

9月19日(月・祝) 午後2時 開会
うつば公園 (東園)

地下鉄「本町」⑧出口を北へ徒歩5分

現場の切実な声ぞくぞく 職場要求アンケートより (忠岡編)

毎年泉北教組が実施している職場要求アンケートにご協力ありがとうございました。

回答いただいた中から、勤務・労働条件に関する声を紹介します。今回は忠岡から寄せられた意見です。

▼45分の休憩は取れない前提の仕事内容である。具体的に休憩時間をとる方法を示してほしい。

▼どんなに勤務時間が長いことを勤務時間管理簿に書いても、教員を増やしたり業務を減らしてくれるわけではないので意味がない。勤務はブラックなのに教員の仕事はボランティア、好意でやるものと思われているのではないか。

▼誰もが納得できる勤務体制にしてほしい。残業代がつくとか、タイムカード制とか。

▼不妊治療のための休暇をつくってほしい。

▼妊娠された先生が安心してお休みできるように制度を改善してほしい。

▼担任や学年が諸費や給食費の催促をしなければいけないような手間を省いてほしい。

など、貴重なご意見が寄せられました。

また、教育条件や制度などで強く望むという回答が多かったのは、

- 学校の備品・消耗品の確保・拡充
 - 30人学級の実現・教職員の増員
 - 事務的な仕事、書類の簡素化
- でした。

泉北教組は、アンケートの結果をもとに、教育要求書を作成し忠岡町教委に提出する予定です。



教職員の生活と権利を守るため、泉北教組に加入してください。